

～脱炭素時代に選ばれるために～ 自動車産業の未来を拓く 脱炭素と循環型社会への挑戦

脱炭素社会の実現に向け、自動車業界では、生産から使用までの全工程でカーボンニュートラルを目指す取り組みの必要性が高まっており、大企業だけでなく中小企業においても喫緊の課題となっています。本講演会では、自動車メーカーによるサプライチェーン全体の取り組みや、循環型社会の視点からの課題と今後の展望を紹介します。さらに工場を中心に現場で実践可能な、ムダロス低減事例も取り上げます。両講演を通じ、企業規模を問わず取り組める脱炭素へのヒントを提供します。

日時 2025年 **11月7日(金)**
13時30分～16時40分

会場 **名古屋市工業研究所
ホール**

〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4番41号
名古屋市工業研究所 管理棟1階

開会挨拶 13:30-13:35 主催者挨拶

講演1 13:35-14:35

「カーボンニュートラルの取り組みと 循環型社会へのチャレンジ」

トヨタ自動車株式会社
環境エンジニアリング部
製品CN企画グループ
グループ長

小笠原 満 氏



車両の製造段階・使用段階を含む
サプライチェーン全体にわたるカー
ボンニュートラルの取り組みを説明し
ます。そして、各段階の取り組みを循
環型社会の視点で見つめ、カーボ
ンニュートラルとサーキュラーエコ
ノミーの両立のカギを探ります。

14:35-14:45 名古屋市工業研究所における脱炭素関連の技術支援

講演2 15:00-16:00

「アイシンの工場を中心としたムダロス 低減の取り組み」

株式会社アイシン
CN・CE企画部
CE企画室

神谷 彰 氏



脱炭素社会の実現に向け、当社で
は多岐にわたる取り組みを進めて
います。その中でも、工場を中心と
したムダロス低減など、身近で実践
可能な具体的事例について紹介し
ます。

16:10-16:40 機器見学会 (希望者のみ、先着 24名)

(材料分析)熱分解ガスクロマトグラフ質量分析計、ICP発光分光分析装置(ICP-OES)
(電気信号測定)スペクトラムアナライザ、オシロスコープ

主催：名古屋市工業研究所

協賛：(公財)名古屋産業振興公社、(一社)中部日本プラスチック製品工業協会、愛知県プラスチック成形工業組合、
中部プラスチック金型協同組合、愛知県鍍金工業組合、鍍金技術研究会、(一社)表面技術協会中部支部、
(一社)プラスチック成形加工学会東海支部、(公社)自動車技術会中部支部、中部エレクトロニクス振興会

～脱炭素時代に選ばれるために～ 自動車産業の未来を拓く 脱炭素と循環型社会への挑戦

参加費

無料

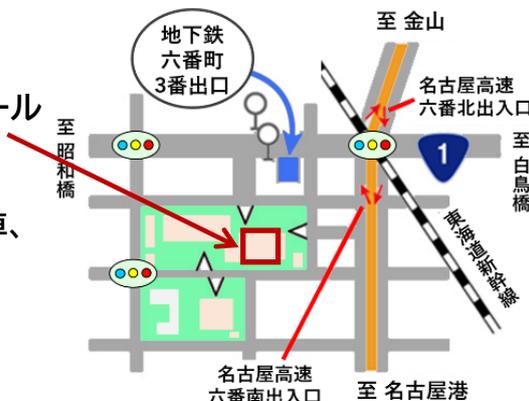
定員

100名

会場

名古屋市工業研究所 管理棟 1階 ホール

名古屋市営地下鉄 名港線『六番町』下車、
3番出口より徒歩2分



名古屋市工業研究所
交通アクセス



申し込み方法

下記URLの入力フォーム または FAX にてお申し込みください。

<https://logoform.jp/form/mX9C/1180209>

右の二次元コードからも入力フォームにつながります。

技術講演会
参加申込



申し込み期限

2025年10月31日(金)

問い合わせ先

名古屋市工業研究所 情報・電子技術研究室 担当:齊藤

E-mail: a6549926@keizai.city.nagoya.lg.jp

TEL:052-654-9926 FAX:052-654-6788

技術講演会 参加申込書

名古屋市工業研究所 情報・電子技術研究室 行

送信先: FAX: 052-654-6788

申込締切 10/31(金)

会社名	
住所	〒
所属・役職	
氏名	
E-mail	
Tel	
機器見学会	<input type="checkbox"/> 参加を希望する (先着 24名)
メルマガジン(NMIRI 技術ニュース)申し込み (月1回、工業研究所のイベント情報等を配信)	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない <input type="checkbox"/> 申込済

※ご記入いただきました個人情報は、受講者への連絡および主催者が開催するイベントや希望者へのメルマガの配信に利用させていただきますが、主催者以外の第三者への提供は行いません。